

# 開封しました ほほえみポスト

2022年1月～3月 小豆沢病院利用委員会



2022年1月から3月までの3ヶ月間で15通のご投書をいただきました。ありがとうございました(同じ趣旨のものはまとめさせていただいています)。

この内容は外来のディスプレイで放映しているほか小豆沢病院のホームページにも掲載しています。

ホームページでは過去約1年分をご覧いただくことができます。[www.kenbun.or.jp](http://www.kenbun.or.jp)

## 改善に関わる投書

### ●入院をされた患者様から

リハビリ担当の職員の方は、勤務体制の関係から交代で対応してくれていますが、各人のリハビリの対応に微妙な差があることについて気になりました。力の入れ方や患者の反応に対しての指導などで個人差が出るのは止むを得ない面も勿論あるのですが、指導者が各人の対応等の均一化を図られているのか、気になりました。

(回答)

リハビリの内容において不安を与えることになり、申し訳ございませんでした。

交代してリハビリするさいには、記録されたプログラムをもとに内容が変わらないようにすること、また、患者様のその日の体調などを考慮して進めるようにしております。内容を変えずに行うことに注意をはらっていますが、経験のある職員が負荷を増やして行う一方で、経験の浅い職員は負荷を軽めにしてしまうなど、変化が出てしまうことも事実です。「職員の●●さんの時は力が弱かった。」など、具体的なご意見をいただいた時には、当該職員に対し個別に指導を行っております。

職員が交代しても、患者様が違和感を感じることなくリハビリを受けられるよう、リハビリ課職員全体の技術の向上や、心地の良い接遇など、統一した対応が出来るように努めてまいります。

### ●超音波検査をされた利用者様から

超音波検査をする時に感じた事です。首の検査時に腕が胸にずっと当たっていて不快になりました。気を付けて下さい。又、腹部の時はズボンを下げるのを最小限にして欲しいです。女性患者の時にはなるべく女性技師にして下さい。

(回答)

ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。

担当技師に対し、操作方法を再確認しながら指導しました。また、課内全体に周知し、常に意識して対応することを確認しました。

職員体制上、常に女性技師が担当することが難しい状況です。女性技師をご希望の場合は、検査予約時にお申し出があれば考慮させていただきますのでお声かけください。

## ご評価をいただいた投書

### ●入院をされた患者様から

やさしくほがらかでレスポンスのいい看護師さん、ヘルパーさん(3階病棟)、理学(作業)療法士の方々に恵まれ、有益で静かな入院生活を送らせてもらっています。小豆沢病院の食事は基本的に薄味でほど良い献立のローテーションゆえ、飽きず、かち合わずに助かっております。軟らかくて温かく、とても美味しいです。その中でも特に印象に残っているのはお昼に出たとろろ天ぷらうどんです。これはごちそうでした。そのほかにも、ホイコーローやトマトポトフもありました。夜に必ずついてくるフルーツもとても嬉しかったです。

### ●入院をされた患者様から

大腸内視鏡検査を2年ぶりに受けました。70歳から毎年受ける様にしていますが、昨年はコロナ感染を心配し受けませんでした。入院検査で分りましたが、小豆沢病院のコロナ対策は万全にされていることを知りました。砂田先生、2階病棟の堤看護師さんにお世話になりました。お礼申し上げます。看護師さんの業務の大変さが分かりました。コロナ感染に気を付けて看護をよろしくお願いします。

### ●入院をされた患者様から

「小豆沢病院の看護師さんたちはとても良いですよ」ということを良く耳にします。実際、皆さんとても明るく、患者さんに合わせてユーモアを交えて話される姿を見て、人付き合いはこうすれば良いのだなと感じました。

リハビリ課の方々もまた患者さんに合わせて接して下さっています。足腰の弱った70～90代の方々を、孫のような世代の若い職員のみなさんが真面目に真剣にリハビリに取り組み、辛抱強く見守り続けるその姿には感銘を受けました。

また、厨房の方々(栄養科)の働きのおかげで、本来の栄養とエネルギーを得られます。

病院内をいつも清潔に保つ清掃の方々(センター事業団)、たくさんの廃棄物の処理や掃除を毎日続けられるの方々など、病院とは先生方のお力はもちろん、たくさんの方々の協力の働きで成り立っているのだ、ということに改めて実感いたしました。みなさま、お世話になって、ほんとうにありがとうございました。小豆沢病院に来て良かった…そう感じています。

